|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 総合分野（学校設定科目等）会計分野（財務会計Ⅰ） |
| 教材のタイトル | 有価証券報告書を活用した企業分析　～有価証券報告書は企業分析の宝庫～ |
| 教材からの学び | １　ＥＤＩＮＥＴから有価証券報告書を閲覧する方法を知る。２　有価証券報告書の見方を理解する。３　有価証券報告書を活用して、さまざまな企業分析の方法を発見する。４　数ある分析方法の中から、企業を分析するための重要項目を考察し、精査することができる。 |
| 時間数 | ２時間（講義とグループ学習１時間、ジグソー法でのグループ学習・探究１時間） |
| 授業の進め方 | １時間目（講義及びグループワーク①）＜講義＞・ＥＤＩＮＥＴを活用し、有価証券報告書を閲覧する方法を指導する（ネットワークによってはＥＤＩＮＥＴでの閲覧が難しい場合もあるので、その場合は企業ホームページのＩＲ情報から有価証券報告書を閲覧する）。・有価証券報告書の見方について説明する。＜グループワーク①＞・グループワーク①では７人程度のグループを６グループつくる。有価証券報告書の分析箇所は３か所とし、２グループが同じ箇所を担当する。・ワークシートの手順に従って、担当箇所で企業分析に使える箇所を見つける。　（数を多く出す）。・次回のグループワーク②（ジグソー法）にて説明ができるようにグループ内でまとめる（スプレッドシートに記入）。２時間目（グループワーク②（ジグソー法））＜ジグソー法＞・グループワーク①でのメンバーがそれぞれ別れ、７つのグループを作る。グループワーク①で出た分析方法について説明する（各班同じ箇所を担当している生徒が２名いるので、２名で協力して説明する）。・全ての説明が終わった後、よりよく企業分析する方法を精査し、最終的に５つほどに絞る。こちらは次回のビジネスプレゼンテーションの企業分析で使う指標とする。＜振り返り・気づきの共有＞・1時間目の終わりに、グループワーク①で出た分析方法についてスプレッドシートに記入する。・２時間目の終わりに、最終的に精査された４つほどの分析方法をスプレッドシートに記入する。 |

ジグソー法　有価証券報告書を活用した企業分析　～有価証券報告書は企業分析の宝庫～

授業計画

■本単元の位置付け

ビジネス探究プログラム　発展学習

■本単元の目標

１時間目（講義、グループワーク①）

・教員はＥＤＩＮＥＴを活用し、有価証券報告書を閲覧する方法を指導する。それに従い、生徒はＥＤＩＮＥＴを用いて、有価証券報告書を閲覧方法を理解する。

・有価証券報告書を活用して、さまざまな企業分析の方法をより多く発見する。

・グループワーク②に向けて正確に発表できる準備をする。

　２時間目（グループワーク②（ジグソー法））

　・グループワーク①で出た内容を明確に、グループワーク②のメンバーに伝える。

　・数ある分析方法の中から、企業を分析するための重要項目を考察し、精査する。

　　精査の過程で、根拠をもって企業分析の方法を決定することができる。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

 ・ＥＤＩＮＥＴから有価証券報告書を閲覧する方法を理解している。

　・有価証券報告書の見方を理解している。

【Ｂ】思考力・判断力・表現力

・有価証券報告書から企業分析の方法を見つけ出すことができる。

・グループワーク②にて伝えるべき内容を明確に伝えることができる。

・数ある分析方法の中から、企業を分析するための重要項目を考察し、精査することができる。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

・アイデアを創出しようとする態度。

・協働してグループの活動に貢献しようとする態度。

 ・振り返りにより、今回の学習を今後に生かしていこうとする態度。

■留意事項

　・難しい内容なので、グループワーク中、教師は意見共有が行われているかを観察し、意見が出ていないグループがあればアドバイスを行い、議論が活発になるよう努める。

・最終的に選んだ４つ程度の分析方法は次回のビジネスプレゼンテーションの企業分析で使う指標とすることを伝える（よって、次回のビジネスプレゼンテーションのグループは２時間目のグループでプレゼンテーションを行う）。

・財務諸表分析で企業を分析する場合は、科目「財務会計Ⅰ」の教科書を参考に使うとよい。

有価証券報告書を活用した企業分析　　　～有価証券報告書は企業分析の宝庫～

**１　有価証券報告書とは？？**

　　有価証券報告書は、上場企業が株主や投資家に対して、その会社の経営状況や財務状況を詳しく説明するための書類です。日本の法律に基づいて、証券取引所に上場している会社は毎年この報告書を提出する義務があります。

**２　有価証券報告書には何が書かれているの？？**

　　日本の証券取引所や金融庁が定める規則に従って、有価証券報告書は統一されたフォーマットで作成されます。これにより、各企業の報告書は一貫した形式で情報が提供されるため、比較が容易になります。基本的にどの企業も以下の内容が書かれています。

（１）企業の概況・・主要な経営指標の推移（売上や営業利益、自己資本比率や従業員数など）

　　　　　　　　　　沿革（企業の歴史）、事業の内容、関係会社の状況、従業員の状況

（２）事業の状況・・経営方針・経営環境及び対処すべき課題、サスティナビリティ―に関する考え方、事業等のリスク、経営者による財政状態及び経営成績及びキャッシュフローの状況、経営上の重要な契約、研究開発活動

（３）設備の状況・・設備投資等の概要、主要な設備の概要、設備の新設・除却等の計画

（４）提出会社の状況・・株式等の状況、自己株式の取得等の状況、配当政策、コーポレートガバナンスの概要

（５）経理の状況・・連結財務諸表（親会社とその子会社、関連会社を含めたグループ全体の財務状況をまとめたもの）

　　　　　　　　　　財務諸表等（子会社等を除いた、個別の会社（親会社のみ）の財務状況をまとめたもの）

（６）提出会社の株式事務の内容

（７）提出会社の参考情報

**３　各企業の有価証券報告書はどうやって見ることができるの？？**

（１）ＥＤＩＮＥＴを用いる方法

　　① インターネットの検索でＥＤＩＮＥＴと入力します。そうするとＥＤＩＮＥＴのサイトが出てくるのでそれをクリックします。

　　② 「提出者／発行者／ファンド／証券コード」に検索したい企業名を入れましょう。例えば「イオン」とか「トヨタ自動車」とか。しかし、「イオン」と入れると「イオンディライト」や「イオン北海道」「イオンモール」なども出てくるので注意してください。

　　③ 「書類種別」は「有価証券報告書」に☑を入れましょう。

　　④ 以上の①～③をすると有価証券報告書が出てきますが、「四半期報告書」（３か月ごとに企業が報告する書類）や「半期報告書」（半年ごとに企業が報告する書類）も出てきますが、今回検索したいのは「有価証券報告書」になるので注意してください。

（２）各企業のホームページから検索する方法

　　① インターネットの検索で「企業名　有価証券報告書」（例えば、イオン　有価証券報告書）などと入力するとたいてい出てきます。こちらも四半期報告書や半期報告書も出てきますので注意してください。

有価証券報告書を活用した企業分析　　　グループワーク①

**今回は、オリエンタルランドの有価証券報告書を分析しましょう。**

１　オリエンタルランドとは何を運営している会社でしょうか？？

　　A.

２　オリエンタルランドの有価証券報告書を先ほどの手順に従って取り出してみましょう。

３　１グループ７名程度のグループを６班作ります。人数が少ない場合は３班作ってください。

４　各グループに分かれましょう。オリエンタルランドの有価証券報告書を３か所に分けます。各グループに割り当てられた有価証券報告書の箇所で、企業分析に活用できそうな項目をできる限り多く探してください。それを以下に書き込んでください。そして全員が説明できるようにしてください。次回の授業で３班ないし６班に分かれ、説明をしてもらいます。

|  |
| --- |
| ＜各班の課題の割り当て＞・１班４班→有価証券報告書の（１）「企業の概況」から企業分析に使える箇所を探す。　　例：「経営指標の推移」から売上高や経常利益が増加しているかを企業分析で使う　　　 「従業員の状況」から平均年間給与を見る。給料が多ければ従業員の満足につながりやめる人が減る。やる気が出る。そのような企業は成長しやすいと考えられる。・２班５班→有価証券報告書の（２）「事業の状況」から企業分析に使える箇所を探す。　　例：「経営方針」から企業の経営方針を見る。経営方針が素晴らしい企業は成長する。　　　 「事業等のリスク」からリスク管理についてどのように考えているかを見る。リスク管理ができている企業は、突発的な出来事にも対処できる。など・３班６班→有価証券報告書の（３）「設備の状況」と（４）「提出会社の状況」から企業分析に使えそうな箇所を探す。　　例：「設備の新設」から新しい設備（アトラクションやホテル等）を入れると、それを目当てにお客さんが来場し、売り上げが上がることが予想される。など |

　　１時間目の班。１班と４班は（１）について。２班と５班は（２）について。

　　３班と６班は（３）（４）についてアイデアを出す。

　　　①　①　　　　②　②　　　　③　③　　　　④　④　　　　⑤　⑤　　　　⑥　⑥

　　　①　①　　　　②　②　　　　③　③　　　　④　④　　　　⑤　⑤　　　　⑥　⑥

　　　①　①　　　　②　②　　　　③　③　　　　④　④　　　　⑤　⑤　　　　⑥　⑥

　　　①　　　　　　②　　　　　　③　　　　　　④　　　　　　⑤　　　　　　⑥

　　２時間目の班。１時間目で同じ班だった人が各班へ分かれる。①④は（１）のアイデアを考えているので、それを２時間目のグループ内で発表する。②⑤は（２）、③⑥は（３）（４）についてのアイデアをそれぞれ発表する。

　　　①　④　　　①　④　　　①　④　　　①　④　　　①　④　　　①　④　　①　④

　　　②　⑤　　　②　⑤　　　②　⑤　　　②　⑤　　　②　⑤　　　②　⑤　　②　⑤

　　　③　⑥　　　③　⑥　　　③　⑥　　　③　⑥　　　③　⑥　　　③　⑥　　③　⑥

グループワーク①

・あなたの班　（　　）班

・あなたの班の課題の割り当て（○を付ける）

・（１）企業の概況　　・（２）事業の状況　　・（３）設備の状況と（４）提出会社の状況

**１　各グループに割り当てられた有価証券報告書の箇所で、企業分析に活用できそうな項目をできる限り多く探してください。なぜ、企業分析に使えそうかその理由も答えてください。**

**こちらは別にある「グループワーク①共有シート」のエクセルシートにも入れてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業分析に使えそうな箇所 | なぜ企業分析に使えそうかその理由 |
| 例：「経営方針」から企業の経営方針を見る | 例：経営方針が素晴らしい企業は成長すると考えられる。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　年　　　組　　　番　　氏名

グループワーク②（２時間目）

あなたの２時間目の班（　　）班　　あなたの１時間目の班（　　）班

**１　まずは「オリエンタルランド」の有価証券報告書を出しましょう。**

**２　２時間目の班に分かれましょう（先生から指示を受けてください）。**

**３　【授業の最初の20～25分】**

**前回の授業で各グループに割り当てられた有価証券報告書の箇所で、企業分析に活用できそうな項目のアイデアを２時間目の班員に発表してください。前回エクセルシートに入力した内容をTeamsで共有すると発表しやすいです。発表は20～25分程度で全て終わらせてください。**

前の授業の１班と４班は（１）「企業の概況」、

２班と５班は（２）「事業の状況」、

３班と６班は（３）「設備の状況」と（４）「提出会社の状況」について協力して発表してください。

１班４班の発表メモ　（１）「企業の概況」より

|  |  |
| --- | --- |
| 企業分析に使えそうな箇所 | なぜ企業分析に使えそうかその理由 |
|  |  |

年　　　組　　　番　　氏名

２班５班の発表メモ　（２）「事業の状況」より

|  |  |
| --- | --- |
| 企業分析に使えそうな箇所 | なぜ企業分析に使えそうかその理由 |
|  |  |

３班と６班の発表メモ（３）「設備の状況」と（４）「提出会社の状況」

|  |  |
| --- | --- |
| 企業分析に使えそうな箇所 | なぜ企業分析に使えそうかその理由 |
|  |  |

**４【授業の後半20～25分】**

**全ての班の発表が終わったら、出たアイデアの中からあなたのグループが企業分析に使う４～５つくらいを選んでください。こちらは次のＰＢＬの単元である「ビジネスプレゼンテーション」の企業分析で使うことを念頭に選択してください。また、最終的に選択した分析方法を別にある「グループワーク②最終決定分析方法」エクセルシートに入力してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業分析に使う分析方法 | なぜ企業分析に使うと決定したのかの理由 |
| 例：「経営方針」から企業の経営方針を分析する。 | 例：経営方針が素晴らしい企業は成長すると考えたから |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**５　今回の２時間の授業を通じて学んだこと、今回の学びを今後どのように生かしていきたいかを記入してください。**

　　年　　　組　　　番　　　氏名